米国からの修学旅行企画
本県コース「世界一」
コーディネーター 小関さんが知事報告

金子知事に「世界一」の評価を報告する小関哲さん ＝県庁

非営利国際教育組織、「ピープルトゥピープル財団」（本部米国）が昨年六―七月、世界四十八コースで実施した国際修学旅行企画のうち、本県の交流プログラムが参加者アンケートで「世界一」の最高評価を受けた。同プログラムコーディネーターで、平戸市在住の小関哲さん(三八)が二十一日、金子知事を訪問。「世界一」の報告を兼ね、同財団から県への感謝状を伝達した。

同財団は毎年、数万人の学生を世界各地に派遣。国際親善による世界平和への貢献を目指している。本年度の「学生大使プログラム」には約二万七千人が参加し、本県は約三百六十人の米国人学生が訪問。五泊六日の日程で、北松小値賀町や平戸市を中心に、お茶や和装、農漁業など日本の生活文化、長崎市での平和学習などを体験した。

小関さんは自然体験や異文化交流を取り入れた旅行型教育プログラムの企画などで活動する国際教育事業コーディネーター。参加者アンケートは①私のホームステイプログラムは有意義な学習体験だった②全体的に、私はホームステイプログラムを楽しんだ③私はホストファミリーを来年の学生大使に推薦したい―の三つで五段階評価。本県のプログラムに対する質問で「最高」の評価が付いた割合がほとんど90％を超え、一位だった。

小関さんは、高い評価を受けた理由を「県民の愛郷心、人間的優しさなど『真心』という素材が参加者に伝わった。自分だけでなく、多くの人の協力で『世界一』になった」などと報告。知事は「海外からの旅行客は地元との触れ合いを求めている。地元の受け入れ態勢やもてなしが結果を生んだ」とねぎらった。

Japan Press Network
47CLUB
全国の地方新聞社が厳選した商品を取りそろえたショッピングサイトです。
www.47club.jp